令和９年度長野県公立高等学校入学者選抜における学校別実施内容一覧

１　全日制課程

（表の見方）　１　「募集」欄は令和８年度(2026年度)入学者選抜の募集学級数です。令和９年度入学者選抜の募集学級数は11月に発表する予定です。
２　前期選抜の募集枠%の数字は募集人員の上限を表しています。
３　第２志望欄の○印がついている学科間においては第２志望（学校により第３志望まで）を認めます。（別紙「第２志望及び第３志望の取扱い一覧」参照）
４　傾斜配点欄は実施する教科および倍率です。
５　再募集欄は前期選抜及び後期選抜において、入学予定者数が募集定員に満たなかった場合の実施予定内容です。
６　｝は、くくり募集をする学科です。
７　空欄になっている箇所については実施しません。
８　前期選抜及び後期選抜では学力検査を実施します。
９　小論文Ａは与えられたテーマに関して一つの論文として答える形式、小論文Ｂは与えられたテーマに関して論理的に構成されたいくつかの設問に答える形式です。
10　再募集の志願理由書から実技検査欄については、後期選抜において実施する内容と同じかそれに準ずる場合は○印がついています。

番号	高校名	学科	募集	前期選抜（自己推薦型選抜）						後期選抜（一般選抜）							再募集					
				募集枠%	募集の観点	志願理由書	面　接	作　文（小論文）	実技検査	志願理由書	面接方法	面　接	作文	実技検査	傾斜配点	第２志望	志願理由書	面　接	作文	実技検査	傾斜配点	第２志望
30	上田染谷丘	普　通	6								紙上					○		対面				○
		国際教養	1	80	学習成績が優秀で、本学科の内容をよく理解していることに加え、国際理解に強い関心を持ち、高校のいずれの教科の学習にも積極的に取り組める者	学習の得意分野、これまでの国際交流経験、取得した資格や受賞経歴、入学後の具体的な目標、将来の希望等について、募集の観点に照らしてできるだけ具体的に記入する。	（個人面接10分程度） 中学校までの活動状況 国際教養科の理解・関心 国際交流の経験 高校での具体的な目標・意欲・態度 将来の希望、自己ＰＲ		英語を理解する力・論理的に表現する力を問う検査を行う。（英語による口頭試問10分程度）		紙上				国語1.25 英語1.25	○		対面			国語1.25 英語1.25	○

令和９年度長野県公立高等学校前期選抜における評価方法一覧

１　全日制課程

（表の見方）　１　「観点別」欄は同一学科内において「募集の観点」で示した区分や受検の型等により評価方法が異なる場合には分けて表しています。
２　「調査書」から「実技検査」欄の「比重」の数値は、それぞれの資料が総合判定においてどの程度重視されるのか、その目安を百分率で表しています。
評価点を示したものではなく、合計して合否を判定するわけではありません。
また、複数の選抜資料の相関関係を見ながら総合的に判定する場合は、備考欄において解説しています。
３　「調査書」から「実技検査」欄の「項目等」の内容は、それぞれの資料において重視する項目を表しています。
４　「調査書」はすべての記載内容を判定資料としますが、特に重視する項目については「項目等」欄に表記しています。
５　事前に提出された「志願理由書」の記載内容については、調査書及び面接の参考にします。

番号	高校名	学　科	観点別	評価方法	調　査　書	面　接	学力検査	作　文(小論文)	実技検査	備　考
30	上田染谷丘	国際教養		比重	40	実技と併せて40	20	－	面接と併せて40	
				項目等	学習成績重視 特に英語、国語重視	志願理由書の記載に基づき、本校の募集の観点に沿った人物であるか総合的に判断			英語を理解する力・論理的に表現する力を問う。（英語による口頭試問10分程度）	